## 加西ふるさとミーティング 2017 夏 質問等一覧

市内 10 小学校区で開催しましたタウンミーティングでは、「市民が求める病院、地域に必要な医療とは」と題し、自治会運営を担われている皆さまを中心に参加していただきました。会場でお聞きした提案や意見をお知らせします。

今後の病院運営に可能な限り反映させてまいります。

校区名		開催日時・場所		参加者数	
富合小学校区			(火)19:30~21 : 00 守西町公民館	42 名	
タウンミーティングでのご意見					
No	意 見 概 要		口	答	
1	診察後の処方薬が多い、医療費の削減を考える必要 があるのではないか。		薬が多いと副作用も出るため減らしたいのですが、患者の希望があるので なかなか減らせない状況です。努力します。		
2	精神科の予約について、前は2カ月先だったが、医師が4人から2人に減ったので4カ月先位の予約になるのではないか。		西病院のみです。この面において	、精神科があるのは、淡路、豊岡、加は、加西病院は優れています。精神科ないのですが、医師を確保するのは病で確保に向けて努力しています。	
3	内科の待ち時間について、 応とかで、予約でも 3 時間 たびれて途中で帰っている	間待ちの人も多く、待ちく		配置ができない状況です。開業医さん 医を持っていただくことで患者さんの ぐに当院へ入院していただけます。	

4	医師が減って収入が少なくなるのは当たり前。それは何年も前からわかっていることではなかったのか。対策を今まで講じられたのか。どのようなことをされてきたのか説明してもらわなくては、何を言っていいのかわからない。	最大限努力しています。大学病院の教授に頭を下げて頼みに行ったり、つてを探したり、民間事業を活用したり、医師の仕事の配分にも工夫して、職場環境の改善をしたりしています。 以前は、教授の指示で各方面の病院に行っていましたが、この 10 年、医局から離れる医師が多くなり、自分の意志で、都会に住みたい、子を都会の学校へ行かせたい、大きな病院に行きたいと考える医師が多くなりました。市民の方へお願いしたいのですが、ご存じの医師があれば紹介してください。そして、現在、46人の医師がいますが、今もこれだけの医師が加西病院にいて頑張っていることを広く知っていただきたい。
5	私たちがすべきことがわからない。かかりつけ医にかかったらいいということか。加西病院の位置づけを教えて欲しい。	緊急の処置を要する循環器系の疾患は、循環器内科の医師が相当数確保出来ているので、安心して加西病院を利用してください。 消化器内科では、内視鏡手術を365日できる体制にあります。内視鏡で切除可能なものは処置し、外科治療が必要な場合は、外科で対応し、大きい病院に行かなくても近くの加西病院で同様の対応ができます。 眼科、産婦人科も診療実績もあり、しっかりしています。しかし、脳外科等は、専門の診療科がないため、他の病院へ紹介する必要があります。
6	加西病院は循環器内科、消化器内科が良いのならもっとPRすべき。医師不足はどこの病院も同じ。研修医が来てもメリットがないのでは来ないだろう。トップレベルだという病院の特徴を出すべき。	加西病院を知ってもらうべく努力していますが、今後、もっと強くアピールをしていきます。

7	市から補助金を出して、医学生の養成をする。市が 医師を作る制度も必要では。	奨学金制度はへき地でもやっているが、かなり大きなお金が必要となりますが良い施策です。医局の力が弱くなっています。働こうという人の気持ちが大事になってきます。
8	病院もサービス業ではないか。外来を待たせすぎではないか。スピード化が大事。	改善に向けて、引き続き努力します。
9	山の上に上がらないといけないのが欠点だ。バス数 を増やすとか考えないといけないのでは。	加西病院は昭和 49 年に現在地に建設されました。耐震の補強診断が出ているので、対応が必要です。岩盤の上に建っているので、基礎は強固です。広い視野で検討したい。建て替えるならば、より利便性のよい所が望ましいと考えます。
10	整形外科の中島先生、眼科の医師、精神科の医師は、特に素晴らしい医師である。 救急は加西病院より、大山病院の方がよく受け入れているのではないか。	現在の医療は専門的かつ細分化されて診療の幅が狭くなっています。そのため、医師の専門外の救急の受け入れは条件があります。加西病院は、可能な限り救急患者は受け入れるという方針でやっていますが、限界もあります。